

かるた遊び

R6.5.27

取れた嬉しさ・取られた悔しさ・・・など色々な気持ちを感じながら楽しんでいるかるた遊び。いつものように保育士が読み手となり札を読んでいると、「わたしも読みたい！」とIちゃん。まだひらがなを読むことも難しい年齢ですが、どうするのかな？と様子を見てみると・・・👁️



どれだろう？これかな・・・
ちょっと違う？
読み札の文字をよ〜く
見比べながら探しています。



「同じのど〜れだ!？」
札を見せながら、伝えて
いました。



繰り返し楽しんでいくうちに、読み手をやってみたくて興味を持ったIちゃん。文字は読めないけれどやってみたくて・・・「札を見せる」その手段、工夫に驚きました。一緒にやっていた友達も、戸惑うことなく札を一生懸命に探し、「これかな？」と取った札を2人で見比べながら「ちょっと違うね」「あ！これかも！」と相談しあっていました。一緒になって探し、合っていた時は嬉しさを共有！子どもたちなりに、考え遊ぶ姿に成長を実感しました。この後もたくさんの札を探していくうちに、“ひらがな”の興味関心にも繋がり遊びの中で
どんどん学んでいる子どもたちです🌟